

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課	回答方法
01	男女共同参画の視点に基づいた広報・情報発信	職員ポータルに掲載されたチェックシートやガイドラインに基づいて行われたはずのチェックの結果はどうなっていますか？		「男女共同参画の視点による広報チェックリスト」、「長岡市ソーシャルメディア活用ガイドライン」については、セルフチェックによる業務への活用を目的としているため、チェック結果は集約しておりません。 ただ、例年実施されている「男女共同参画に関する調査・研究最終報告書」での不適切事項の指摘は年々減少しておりますので、今後も継続的に男女共同参画の視点での情報発信について意識付けを図り、適切な表現による広報・情報発信に努めていきたいと考えております。	広報・魅力発信課	
02	メディア・リテラシーの学習機会提供	チェックの結果は？		市政だより等の公的刊行物の内容についてチェックを行った結果、令和4年度の指摘はありませんでした。 なお、第2次計画期間の平成30年1月からチェックを開始し、令和4年3月までの期間で最終報告を行いました。最初の平成30年度は20か所の指摘がありましたが、その後22か所、13か所となり、最終の令和3年度は指摘なしでした。職員向けのアンコンシャスバイアス研修の実施や広報チェックリストの活用を進めるなどの取り組みは今後も続けながら職員の意識の浸透を図り、公的刊行物のチェックについても継続をしていきます。	人権・男女共同参画課	
09	幼稚園・保育園・こども園の保護者を対象とした男女共同参画の意識啓発	多くの保護者の参加があって、よかったです。男性の参加率を上げるためにどんな工夫をされているでしょうか？		両親ともに参加しやすい案内表現の使用、家庭で実践しやすい運動遊びなどの内容の工夫、開催時期を週末に設定するなどしています。	保育課	
10	政策方針決定過程への女性参画割合向上	各審議会での意識の浸透は具体的にどのように進んだのでしょうか？		各審議会における委員の選出方法を「〇〇の長」から「〇〇の長又はその推薦する者」に見直すことで単にあて職として男性に偏りがちな選出を改めたり、定数や公募の人数を変更することにより女性委員を新たに加えたりなどの対策が行われました。72ある審議会等のうち19の審議会等において女性委員登用率が上昇しました（減少した審議会等は9）。	人権・男女共同参画課	会議
11	女性管理職員の登用率の向上	登用率はなぜ昨年度と同値だったのですか？		適材適所の人事異動を行った結果、女性管理職員の登用率は昨年度と同じ数値となりました。 なお、女性管理職員の登用率の向上には、課長補佐級や係長級の女性職員を増やすことも重要と考えており、係長級以上の女性登用率は昨年度の21.9%から今年度は22.8%に上昇しております。	人事課	
12	コミュニティでの女性の参画促進	「退職後の女性の活躍の場として……」の文言について、ここでいう「退職後の女性の活躍の場」が「地域コミュニティ」であるというのは、地域コミュニティの活動に一般参加者として加わるという意味なのでしょうか？ それとも再就職先として、女性が地域コミュニティの中で指導的な役割を果たすという意味なのでしょうか？ あるいは単なるボランティアとして無給で参加するという意味なのでしょうか？ わかりやすく記載を修正してください。		「退職後の女性の活躍の場」の意味は、再就職先として、女性が地域コミュニティの中で、意思決定過程への参画や指導的な役割を果たすという意味です。分かりやすく記載を修正します。	市民協働課	
13	防災分野での女性の参画促進	令和4年度の実施計画と5年度のその間の記述の落差はどういうことでしょうか？ なぜこのように具体性を欠く表現になったのでしょうか？ 「女性の視点の多角化を図りました」とはどのような意味でしょうか？ 女性は多角的な視点を持っていないのでそれを改めてもらったという意味ですか？ もしそういう意味であるとすれば、この総括自体が性差別的で、書き改めてください。		昨年と同様に、人事異動に伴う委員の変更の際には、長岡市防災会議条例第3条第5項第7号の規定を柔軟に運用することで、職階に拘泥することなく女性職員を委員に推薦するよう関係機関に対して要請します。進捗管理表には取組の要約を記載しましたが具体性を欠く表現であるため、進捗管理表の記載を改めます。なお、令和4年度は委員の改選期のため、目標人数を記載しましたが、令和5年度は、特段の事情がない限り委員の変更がないため、目標人数の記載をしていないものです。 「長岡市防災会議における女性の視点の多角化」については、長岡市防災会議の女性委員が3名から11人に増えたことにより、女性の視点が広がったことを多角化と表現したものでありましたが、表現が適切ではないため、進捗管理表の記載を改めます。	危機管理防災本部	会議
14	農業分野での女性の参画促進	4名の女性の参画は多いとお考えですか？ まだまだ少ないとお考えですか？		女性の参画は、少ないと考えております。	農水産政策課	
18	家族経営協定の締結促進	4年度の3件の締結で、長岡市内での締結総数は何件になったのでしょうか？ 協定は結べばいいというものではなく、その内容が問題です。締結された協定の内容についてはどう評価していますか？		締結総数は、累計で78件であります。 この協定は、家族経営で曖昧になりがちである「経営の役割分担」、「収益の配分」、「就業条件」を話し合っ内容を決めていくため、意欲的に働くための環境整備が行っていると評価しております。また、家族経営協定をきっかけとして、法人化する経営体も出てきております。	農水産政策課	
19	女性消防団員の育成	県消防学校への入校はどうなりました？		6月3日（土曜日）県消防学校の特別教育『女性消防団員科』に広報指導分団から団員1名が入校いたしました。 現在の社会情勢における女性消防団員の役割等について学ぶとともに、他市町村の女性消防団員12名と交流を深めることができました。 研修で知り得た知識を分団内に共有し、資質の向上を図ります。	消防本部総務課	
21	男女のニーズの違いに配慮した避難所環境の整備	賞味期限のある備蓄品を入れ替えて、古いものはどうしましたか？ 廃棄前に入れ替える必要があると思います。具体的に記載してほしいです。また、このことは避難所運営の日常業務であって、男女共同参画とどう関連するのかが不明です。		賞味期限のあるミルクや離乳食については、賞味期限前に入れ替えを行い、防災講座等の参加者に配布するなどの有効活用をしております。	子ども・子育て課	

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課	回答方法
22	ながおかヘルシープラン2.1の推進	これが男女共同参画とどう関わるのかがわかりません。この事業の中で、男女共同参画に関連する課題としてどんなことを実施したのかを記載してください。		第3次ながおか男女共同参画基本計画の主要施策(7) 女性の生涯を通じた健康支援に位置付けている健康増進計画です。健康課題の評価、関連事業の進捗管理を実施し、男女ともに健康づくりの推進を図り、健康寿命の延伸を目指しています。自殺対策として、こころの健康講座(21回362人参加)、ゲートキーパー研修会(12回350人参加)などの啓発事業、こころの健康相談会(47回66人)やSNS等相談連携事業の相談事業等の他、庁内関係課・庁外の関係団体と連携を図りながら取り組みました。経済問題や職場の悩み、育児や介護の問題など、性別や年齢によって考えられる原因に違いがあることから、それらを踏まえて自殺対策計画の策定に取り組みます。	健康増進課	会議
22	ながおかヘルシープラン2.1の推進	事業内容に、自殺対策に取り組むとあるが、令和4年度実施計画、状況・評価には自殺対策の記述がありません。自殺対策事業の取組みはどのようにされたのか報告をしてください。		妊娠届出時の面談や両親学級、出産後の訪問支援の場面で、パートナーや家族の方へ周囲の支援が大切なことをお伝えしています。	健康増進課	会議
24	妊娠・出産期における健康支援	妊娠・出産期における女性の健康に対する支援には、対象女性のパートナーである男性・女性への積極的な働きかけが不可欠だと考えます。これについては何をしましたか？		「男女共同参画の視点を踏まえて」とおりです。4年度は、男女共同参画の視点を含み相談者の主訴をもとに、養育、就労や社会生活における困難さを解消し、学校生活や社会生活で活動することができるよう、必要な機関につないだり、相談支援を行ったりしました。5年度にスクールソーシャルワーカーを配置し、男女共同参画の視点を踏まえ、より相談者に寄り添った相談支援、関係機関の連携を行います。	子ども・子育て課	
25	思春期・青少年相談	4年度実施計画の「男女共同参画の視点も踏まえて」は「男女共同参画の視点を踏まえて」でない、「男女共同参画基本計画」の文言としては不十分でしょう。5年度の実施計画には4年度の計画にあった文言が削られて、ソーシャルワーカーに代えられていますが、これはどういうことでしょうか？ さらに、4年度の実施状況に記載された事柄はいずれも、青少年に対する相談業務一般の内容となっており、特に男女共同参画に係る問題としてはどんなことを実施したのかに記載されていません。これについて記載してください。		「子育て」「デジタル技術」に関する応募が多くありました。例えば「育児相談をオンラインでできるようにしてほしい」、「孤独を感じるリモートワーカーの交流イベントやバーチャルオフィスを作ってほしい」、「子どもと遊びにいくときに見る公園の情報サイトがほしい」、といったものがありました。	学校教育課	会議
32	多様な活躍に向けた啓発・情報提供	(事業15の再掲部分を除く) 女性のアイデアコンテストに応募されたアイデアの具体例を教えてください。		職場復帰支援セミナーは、育休明けの職場復帰に不安を抱えている方を対象に、グループワークやセミナーなどによる不安解消の機会として、新年度が始まる前の3月に開催したものです。その後の参加者の状況は確認していませんが、上記の開催目的から、いずれ職場復帰が決まっている方が多く参加されているものと考えています。なお、アンケート結果から、参加理由は「仕事と家事の両立に不安があったので、他の人がどう乗り越えようとしているのか聞いてみたかった」が最も多く、「グループワークで他のママと話せてよかった」「不安なのは自分だけじゃないと思った」など、参加者の満足度は100%でした。セミナー参加者が実際に職場復帰したかどうかは確認しておりません。参加者の満足度は100%であり、職場復帰について考えるよい機会にはなったと考えています。	人権・男女共同参画課	
33	就職・再就職支援	セミナー参加者の職場復帰は実現したのでしょうか？		令和3年度の相談件数は19件、令和4年度は18件で1件の減少でした。職場での人間関係の悩みやキャリアアップに関する相談に対して、一緒に考えながら助言を行っています。その後の追跡調査は行っておりませんが、助言を参考に気持ちを前向きに切り替えて取り組む方や、迷いが消えずに数回に渡り相談を重ねる方などさまざまです。自身の考えを整理して前に進むことにはつながっています。	人権・男女共同参画課	
39	相談機能の充実	(事業33の再掲部分を除く) 産業カウンセラーの個別相談は増えたのでしょうか、減ったのでしょうか？ 相談の結果どんな進展がありましたか？		令和3年度の相談件数は19件、令和4年度は18件で1件の減少でした。職場での人間関係の悩みやキャリアアップに関する相談に対して、一緒に考えながら助言を行っています。その後の追跡調査は行っておりませんが、助言を参考に気持ちを前向きに切り替えて取り組む方や、迷いが消えずに数回に渡り相談を重ねる方などさまざまです。自身の考えを整理して前に進むことにはつながっています。	人権・男女共同参画課	
40	コミュニティ推進事業【女性活躍】	男性対象の料理教室は人気だが、これが必ずしも男性の育児参加につながっていません。男性の家事に対する理解は、男性が家事に主体的に従事することによってはかられるはずですが、これに与えた影響はどのようなものだったと評価しますか？		普段料理をしない男性が地域で開催される料理教室に参加することで、家事へのハードルが低くなったり、家族に料理を作ったりしたとの声を聞いておりますので、料理(家事)を通して、少なからず男女共同参画に影響があったと思いますが、さらに家事に主体的に従事するような取り組みへの深化が必要と考えます。	市民協働課	会議
41	まちなかキャンパス長岡運営事業	市民からは対面開催のニーズが高いことは理解できます。しかし、対面で講義しつつオンラインでも配信することに講師側からなぜ抵抗があるのかがよくわかりません。具体的に何があったのでしょうか？ また、ここに記載されているのはほぼまちなかキャンパス運営一般の話であって、とくに男女共同参画に係る問題としてはどんなことが行われたのかについては記載がありません。これについて記載してください。		・対面もしくはオンラインのいずれかなら問題ないが、対面参加とオンライン参加の受講者両方に配慮しながら講義を行うことに難しさを感じるという声が外部講師側にあったため記載したものです。ただ、ご指摘のとおり、この計画の評価欄に講師側理由による記載があることはわかりづらい点もあるため、評価欄の記載を修正させていただきました。・オンラインによる講義は、仕事、育児、介護などによる時間的制約及び遠方居住者で距離的制約のある市民の受講ニーズに対応できるとして、試験的に実施を計画したもので、こうしたニーズへの対応が男女共同参画にも充分資するものであるとして掲載したものです。	ミライエ長岡企画推進室	
42	育児と仕事の両立支援	4年度の実施状況が3年度に比べてどのくらい前進または後退したのかを教えてください。昨年も審議会委員だった者は昨年の資料を参照すれば数値を知ることができますが、今回の進捗管理についてはいずれ公開される性質のものです。したがって、この資料だけ見ても年次推移が把握できるようでない、一般市民に評価されるようにはならないでしょう。		庁内広報誌や「子育てハンドブック」で休暇、休業制度の周知を継続して実施したことにより、男性育児休業取得率がR3年度24.1%からR4年度57.4%と大幅に上昇しました。また、育児と仕事の両立実現に向けた意識醸成につながる研修は、R3年度も同様に実施しています。継続することで、職員個人及び職場全体の意識醸成につながると考えています。	人事課	

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答一覧

No.	事業名等	質問	委員名	回答	推進課	回答方法
43	ファミリー・サポート・センター事業	依頼と提供のバランスはとれていますか？		依頼会員も増加していますが、ニーズに対応できるサービス提供体制を確保しており、サービス提供件数は年々増加しています。 (サービス提供件数) ・令和2年度 2,964件 ・令和3年度 3,758件 ・令和4年度 4,198件	子ども・子育て課	
45	子育ての駅運営	「行事」というのは何でしょうか？ 相談活動0回、講座0回というのはどういうことですか？		【進捗管理表修正】 ・「行事」は、誕生会、ミニコンサート、ブックスタート、餅つき、運動会、水遊び、クリスマス会、節分豆まき、ひな祭りなどです。 ・相談活動0回、講座0回は集計誤りです。	子ども・子育て課	
47	児童クラブの充実	前年比で減となっている部分について、その理由としては何が考えられますか？		令和4年度をもって、上塩小学校（栃尾地域）が栃尾東小学校と統合したため、同小学校内で実施していた上塩児童クラブを閉鎖したものです。	子ども・子育て課	
48	母子保健推進員活動	協議会主催の活動が計画より少なかったのはどうしてでしょうか？ 地区母子保健推進員主催の活動が計画を大きく上回っているのはどうしてでしょうか？ 具体的に教えてください。		令和4年度は12月の大雪により急遽中止した協議会活動がありました。そのため回数が計画よりも少ないです。地区母子保健推進員の活動が大きく上回っているのは、令和3年度は新型コロナウイルスによる活動の中止が多くありましたが、令和4年度からは通常通りの活動ができるようになったことが理由です。	子ども・子育て課	会議
51	高齢者や介護者の相談窓口の運営	令和4年度相談案件数6,178件は相談件数として多いのか、少なくなったのかどちらですか。前年比を示し、考えられる理由と合わせて説明をお願いします。		令和3年度相談案件数は6,024件であり、令和3年度と比較すると154件の増加となりました。増加した理由は、コロナ禍での行動制限が徐々に緩和されたことから、市外の親族の往来が増加し、男女問わず親族からの相談が増加したものと考えられます。	長寿はつらつ課	会議
52	DV防止の意識啓発の推進と相談窓口の周知	男性のDV被害は顕在化していますか？		相談件数における男性の実人数は、令和元年度12名、令和2年度10名、令和3年度2名、令和4年度5名です。少数ではありますが顕在化していると言えます。相談窓口の周知を進めます。	人権・男女共同参画課	
57	職場におけるハラスメント相談への対応	事業39の再掲ですが、事業39の記載内容と違いがあります。事業57のほう具体的に数値があげられています。事業39のほうにはなぜ具体的な記述がされなかったのでしょうか？		事業No. 39を具体的な記載に修正します。	人権・男女共同参画課	
58	相談従事者の研修の充実	……しました、……を行いました、と書かれていますが、何をどのように、何人ぐらいの参加で何回開催したのか、職員11人というのが相談業務に当たる職員の中のどのくらいの割合なのかを示してください。		事業No. 58を具体的な記載に修正します。	人権・男女共同参画課	
59	配偶者暴力相談支援センターの運営	相談件数884件の中の、男性5人は、被害者としての相談でしたか？ 加害者としての相談でしたか？ それとも第三者からの相談ですか？ このどれに当たるのかというのは相当重要な問題です。これは本当は女性の相談者についても同様です。相談事例をそのまま示すことは人権に配慮する点から無理でしょうか、事案がどのような傾向を持っているのかを検討する材料程度には具体的に示していただきたいと思えます。		男性からの相談には加害者からと思われる相談も含まれますが、双方が被害を主張して相談されるケースもあり明確な区別ができません。第三者と思われる相談も男女問わず寄せられます。被害者の安全確保を優先して慎重に対応します。	人権・男女共同参画課	
63	DV被害者の心身の健康回復支援	委託先のNPO法人との情報交換はできていますか？ 委託先のNPO法人で不適切な対応があったという事例が他市では発生しています。十分な意見交換・情報交換が必要だと思います。		委託先NPOと当センターの全相談員が参加して毎月1回のケース会議を開催しています。また、毎週1～2日はNPOの相談員が当センターで勤務する日を設け、情報共有を行うとともに連携を図っています。	人権・男女共同参画課	
64	関係機関・民間支援団体との連携・協力体制の強化	この連絡会議の内容は公開されていますか？		具体的な事例を含むこともあることから、その内容は公開しておりません。各機関が一体となって対応することの重要性を確認する会議として開催しています。各機関の相談窓口を当市ホームページに一覧の形で掲載しています。	人権・男女共同参画課	
70	男女共同参画政策推進会議の開催	女性登用を働きかけて、その成果はどうでしたか？		審議会等における女性登用率は38.0%となり、前年の35.4%から上昇しました。依然として女性の登用率が低い審議会等の解消に努めます。	人権・男女共同参画課	
74	国・県および周辺市町村などとの連携	「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されます。相談支援体制の整備など、本計画とも密接に関わると思われますが、施行に向けて、国・県と連携した取り組みは行われているのでしょうか。また、同法では「市町村基本計画」の策定が努力義務とされていますが、長岡市においては計画を策定(本計画に付加することも含めて)する予定はあるのでしょうか。		今年度、県において計画策定が進められております。県の担当課によるヒアリングが行われ、本市として把握している課題等について伝え、計画に取り込んでいただくよう求めていきたいと考えております。 努力目標とされている基本計画の策定は必要と考えておりますが、まずは今年度内に示される県の計画の内容を注視し、男女共同参画基本計画への付加を含めて、具体的な形を検討します。	人権・男女共同参画課	会議